



企業史料協議会主催 ハイブリッド開催

## 第12回ビジネスアーカイブズの日シンポジウム

# ダイバーシティとビジネスアーカイブズ

多様化社会において、すべての人が生きがいを持ち、安心して働くことのできる職場であるために、ビジネスアーカイブズができることは何か、ビジネスアーキビストの使命とは何かについて考えます。

日時 **2023年11月9日（木）13:00～16:45（12:30開場）**

場所 連合会館 2F 大会議室（東京都千代田区神田駿河台3-2-11 TEL 03-3253-1771）  
オンライン（Zoomミーティング 参加者に招待URLをお送りします）

定員 会場 50名 オンライン50名

参加費 **会員 無料 一般 会場 2,000円（学生無料）／オンライン無料**

懇親会参加費 4,000円

お申込・会場アクセスは裏面をご覧ください



### プログラム

総司会 企業史料協議会理事 野秋誠治

● 開会宣言・会長挨拶 13:00 - 13:10 企業史料協議会会長 石原 邦夫

● 特別講演 13:10 - 14:30

## 「日常生活世界から考えるダイバーシティとビジネス — 日米企業史料に見る労働者の人格主義」

講師 法政大学人間環境学部教授 湯澤 規子 氏

人びとの暮らしと多様な社会の実相を解き明かしてきた気鋭の学者が、大原孫三郎（クラボウ創始者）と武藤山治（カネボウ創始者）、相馬黒光（中村屋創始者）と明治女学校、津田梅子（津田塾大学創設者）とマサチューセッツ州の女性教育の事例を通して、日常生活世界における「ダイバーシティとビジネス」について論じます。男女の区別を越え、全ての人を人格ある人間として尊重することこそがダイバーシティを具現化することであり、企業活動の未来にとっても欠かせない姿勢であることを、日米の企業史料をひもときながら議論します。

● パネルディスカッション 14:40 - 16:40

## 「多様化社会におけるダイバーシティの推進と ビジネスアーキビストの使命」

企業の歴史を多様性と結び付け、ダイバーシティという概念がまだ確立していなかった歴史にも目を向けながら、ダイバーシティ推進におけるアーカイブズの価値や存在意義、アーキビストの使命の発見につながるディスカッションを目指します。

モデレータ 平野 泉 氏 立教大学共生社会研究センター アーキビスト

パネリスト 清水 ふさ子 氏 東京大学大学院人文社会系研究科 特任研究員

パネリスト 中臺 綾子 氏 千葉県文書館・アーキビスト

パネリスト 畑田 尚子 氏 清水建設(株)コーポレート企画室主任、企業史料協議会理事

オブザーバー 松崎 裕子 氏 (公財)渋沢栄一記念財団 情報資源センター 企業史料プロジェクト担当、  
企業史料協議会理事、(株)アーカイブズ工房代表

● 閉会挨拶 16:40 - 16:45 企業史料協議会副会長 阿部 武司

● 懇親会 17:00 - 19:00（会場のみ）

嘉賓 御茶ノ水店（千代田区神田駿河台3-2-1 新御茶ノ水アーバントリニティビル B1F）

懇親会参加費4,000円 当日受付時にお支払いください



企業史料協議会主催 第12回ビジネスアーカイブズの日シンポジウム  
「ダイバーシティとビジネスアーカイブズ」

登壇者略歴

● 特別講演 講師 湯澤 規子 氏

法政大学人間環境学部教授。筑波大学大学院歴史・人類学研究科単位取得満期退学。博士（文学）。明治大学経営学部専任講師、筑波大学生命環境系准教授を経て、現職。主著『在米産業と家族の地域史』（古今書院）で日本農業史学会学会賞、地理空間学会・学会賞（学術賞）、経済地理学会著作賞、『胃袋の近代』（名古屋大学出版会）で生協総研賞第12回研究賞、第19回人文地理学会賞（学術図書部門）を受賞。近刊に『焼き芋とドーナツ—日米シスターフード交流秘史』（KADOKAWA）など、著書多数。

● パネルディスカッション モデレータ 平野 泉 氏

立教大学共生社会研究センターアーキビスト。学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻博士後期課程単位取得退学。埼玉大学経済学部社会動態資料センターで「資料整理」のおもしろさを知る。2010年より立教大学共生社会研究センター勤務。戦後社会運動が生み出した多様な記録について、収集から利用提供までアーカイブズ業務全般を担当している。共訳書に、『続・アーカイブズ論—記録のしくみと情報社会』（2023年、明石書店）。

● パネルディスカッション パネリスト 清水 ふさ子 氏

東京大学大学院人文社会系研究科特任研究員、（一財）小峰研究所理事、日本アーカイブズ学会登録アーキビスト、国立公文書館認証アーキビスト。企業ミュージアムでの経験を経て、学習院大学人文科学研究科アーカイブズ専攻へ入学。2021年3月同専攻博士後期課程単位取得満期退学。現在は企業アーカイブズ研究および小峰研究所収蔵の医療アーカイブズの調査研究に従事。主な論文に「明治期における会社法と会社の記録管理について」『学習院大学人文科学論集』第29号、2020年、「小峰資料群(王子脳病院・小峰病院・小峰研究所)の概要とその資料編成について」『精神医学史研究』23-1、2019年。

● パネルディスカッション パネリスト 中臺 綾子 氏

千葉県文書館県史・古文書課会計年度任用職員。2013年学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻博士後期課程単位取得退学。日本アーカイブズ学会登録アーキビスト。国立公文書館、千葉県文書館の非常勤職員を経て、2007年東京レコードマネジメント(株)入社。東京電力ホールディングス(株)電気の文書館担当として、企業アーカイブズの保存・整理に携わる。2018年より現職。主な論文に「日本におけるビジネスアーカイブズ戦略構築を目指して：『ビジネスアーカイブズに関する全国的戦略(イングランドおよびウェールズ版)』試訳」(記録管理学会『レコード・マネジメント』64、2013)、翻訳に「アーカイブズと経営 企業のDNA/アレキサンダー・L・ビエリ著」(渋沢栄一記念財団実業史研究情報センター編『世界のビジネス・アーカイブズ：企業価値の源泉』2012)がある。

● パネルディスカッション パネリスト 畑田 尚子 氏

清水建設株式会社コーポレート企画室主任。1976年清水建設入社、人事部・人材開発部所属。2000年から200年史編纂プロジェクト室に所属し「二百年史」（2003年11月発行）の編纂、制作に従事。2004年から総合企画部所属。2013年から現在までコーポレートコミュニケーション部所属、アーカイブ業務担当。主な業務は、清水経営史の記録および社史資料、文献類の集積・管理・レファレンス対応、社内外での研修、講演活動および執筆活動、歴史的建造物の調査、資料館（国内初の建築史資料館／江東区潮見）展示の企画制作。主な執筆書籍に『明治・大正の邸宅 清水組作成彩色図の世界』（2009年）、『震災復興 京橋・日本橋の街並みから』（2015年）『謎のお雇い外国人 ウォートルスを追って』（2017年）『受け継がれる住まい』（2019年）がある。

● パネルディスカッション オブザーバー 松崎 裕子 氏

公益財団法人渋沢栄一記念財団 情報資源センター企業史料プロジェクト担当、企業史料協議会理事、株式会社アーカイブズ工房代表、日本アーカイブズ学会登録アーキビスト、国立公文書館認証アーキビスト、国際アーカイブズ評議会企業アーカイブズ部会（ICA/SBA）運営委員。2004年より公益財団法人渋沢栄一記念財団情報資源センター企業史料プロジェクト担当（業務委託）。著作に「企業アーカイブズの30年—グローバル化の中での記憶と和解、経営への価値付け」（『アルケイアー 記録・情報・歴史』17、南山アーカイブズ、2022年）他多数。

参加申込

下記必要事項をお書きのうえ、企業史料協議会事務局メール [info@baa.gr.jp](mailto:info@baa.gr.jp) 宛にお申し込みください。1機関から複数名お申し込みの場合は、全員のご氏名・メールアドレスをお書きください。

- 【申込必要事項】
1. ご所属機関名・部署名
  2. 参加者氏名
  3. 連絡先メールアドレスおよび電話番号
  4. 参加方法：会場／オンライン
  5. 懇親会参加：有／無

申込締切 11月2日（木）ただし会場・オンラインそれぞれ定員に達し次第締め切ります。

会場アクセス

東京メトロ半蔵門線・都営三田線・都営新宿線「神保町駅」A8・A9 出口徒歩4分／東京メトロ東西線「竹橋駅」1b 出口徒歩4分／JR中央線・総武線「御茶ノ水駅」聖橋口徒歩5分  
<地図> <https://www.hit-u.ac.jp/hall/accessjp.html>

会場参加の方

会議室定員の半分以下で使用します。新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いします。

オンライン参加の方

参加者へ前日までにZoomミーティングの招待メールとオンライン参加案内をお送りいたします。

